

ポーランド経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Poland)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: 石原尚子 naoko.isihara@uk.mufg.jp)

概況	消費/消費者心理
<p>ポーランド経済は、ユーロ圏からの需要の鈍化を内需がある程度補い、底堅く推移している。2012 年の第 1 四半期の実質 GDP 成長率は前年比 3.5%と、他の EU 諸国と比較すると依然高めの成長率を維持した。ただし、直近のデータは、輸出の減速がより鮮明化していることを示すなど、ユーロ圏からの需要の鈍化による景気下押し圧力はより強まっている。これまで堅調に推移してきた個人消費も、失業率の高止まりや、賃金上昇率の伸び悩みなどを背景に弱含みの展開となっている。政府は、欧州債務問題に伴う投資家のリスク警戒感の強まりの影響を最小限に抑えるために、財政緊縮策を実施しており、政府に景気刺激策の実施を期待することは難しい。バランスシートの調整を迫られている西欧の銀行を親銀行とする金融機関が貸出抑制を進める可能性は残っており、これによって企業投資の勢いが予想以上に鈍化するリスクも景気下振れ要因として指摘されている。</p> <p>欧州債務問題が現状の欧州通貨同盟の存続を危ぶむ事態に発展する中、ポーランドがユーロ圏に加盟する可能性は早くとも 2016 年と著しく後退している。</p>	<p>5 月の実質小売売上は前年同月比+4.3%と前年より営業日数が減少したことから、同+1.8%と低めの伸びとなった前月から加速した。消費者物価上昇率の低下が小売売上を下支えしたとみられる。ポーランド経済は、ユーロ圏向けの輸出需要の減少を国内需要がある程度補うなど、欧州債務危機による負の影響が比較的抑えられていることから、消費者心理は、若干弱含みながらも安定推移している。ただし、ユーロ圏の景気後退が深刻化することへの懸念が残る状況下、失業率の高止まり、賃金上昇率の伸び悩みなど、今後個人消費の勢いが鈍化する兆候が散見され始めている。</p> <div data-bbox="861 716 1420 1008"> <p>消費者信頼感指数と小売売上伸び率の推移</p> <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>
GDP	物価/金融政策
<p>2012 年第 1 四半期の実質 GDP 成長率は前年比+3.5%と、総固定資本形成及び輸出の減速により前期の同+4.3%から低下した。個人消費は、同+2.1%と前期とほぼ同水準伸びとなる一方、総固定資本形成の伸び率は、同+6.7%と、依然高めの水準にあるものの、前期の同+10.3%から低下。輸出も、ドイツ向け輸出の減少などを背景に前年比+4.8%と、前期の同+7.9%から減速している。今後については、第 2 四半期までは欧州サッカー選手権関連の投資などが成長率押し上げ要因となる見込みだが、後半は、ユーロ圏の需要の低迷、財政緊縮策の影響、更には、企業投資の勢い鈍化などから成長率は弱含みで推移するとみられている。</p>	<p>5 月の消費者物価上昇率は、前年同月比+3.6%と前月の同+4.0%から低下した。食料品、燃料価格の伸び率低下や衣料品価格の下落などから低下基調が続いている。ただし、依然中銀の目標値である 2.5%(±1%)を上回る状態は続いている。</p> <p>6 月 6 日の金融政策委員会において、中銀は政策金利を 4.75%に据え置いた。5 月の同委員会では、底堅い内需及びズロチ安の影響によるインフレ率の高止りに対する懸念から 0.25%ポイントの利上げを実施していた。しかし、その後は欧州債務問題の深刻化などから景気の先行き不透明感が強まり、インフレ圧力は今後弱含みの展開となる様相を呈している。こうした状況下、中銀は当面、現在の金融政策を維持するとの見方が強まっている。</p>
<p>実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	国際収支
<p>生産/企業景況感</p> <p>5 月の鉱工業生産は、前年同月比+4.6%と、前月の同+2.9%から上昇した。ユーロ圏向けの輸出の減速に伴い自動車、電気機器などの生産は低迷しているが、国内需要が堅調なうえ、ズロチ安に伴う輸入品価格の上昇が国内製品に対する需要を増やしたため、加工食品や家計向けの消費財の生産が増え、製造業全体の伸び率は、前年比+5.1%と前月の同+3.1%から上昇した。また、建設部門も同+11.9%と前月の伸び率を上回った。</p> <p>一方、5 月の製造業の購買担当者指数(PMI)は、48.9 と 2 カ月連続で拡大・縮小を分ける 50 を下回っている。ユーロ圏からの需要鈍化に伴う新規輸出受注指数の低下が全体の指数の押し下げ要因となっている。</p>	<p>第1四半期の経常赤字は 57.0 億ドルと前期から減少したものの、前年同期比でみると 30%以上増加した。前年より貿易収支及び所得収支赤字が拡大したことが経常赤字増加の背景にある。また、同時期のポーランドへの直接投資は 22.0 億ドルのマイナス(=流出)を記録した。直近 4 月の値も 1.8 億ドルの流出となるなど、昨年までの一貫して流入してきた直接投資の推移は、今年に入り流出トレンドを示している。これが一時的な現象なのか、今後の推移には留意する必要がある。</p> <p>財政状況/財政政策</p> <p>ポーランド財務省は 2012 年の財政状況について、景気鈍化が予想されるものの、特に前半の底堅い企業活動を背景に法人税収や間接税の増加が見込めることなどから、財政赤字見込み額を当初の 350 億ズロチから 268 億ズロチに引き下げ、政府が目標に掲げている対 GDP 比 3%以下に抑えられる可能性がある、という楽観的な見解を示した。</p> <p>一方、議会は中期的な財政再建政策の一環である年金改革の第一歩として退職年齢の引き上げを決定。現在の男性 65 歳、女性 60 歳の退職年齢を 2013 年以降、毎年 3 カ月毎引き上げ、男性は 2020 年に、女性は 2040 年にそれぞれ退職年齢が 67 歳に引き上げられることになる。</p>

ポーランド経済・金融概況

1. 年、四半期

	2009	2010	2011	11/Q2	11/Q3	11/Q4	12/Q1	12/Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	431.4	469.4	514.2	134.5	127.9	130.8	114.9	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	1.6	3.9	4.3	4.3	4.2	4.3	3.5	-
(民間消費支出) (y/y, %)	2.1	3.2	3.1	3.6	3.0	2.0	2.1	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	-1.2	-0.2	8.7	6.9	8.5	10.3	6.7	-
鉱工業生産 (y/y, %)	-4.5	9.0	7.7	5.8	6.1	9.7	4.9	-
小売売上(実質) (y/y, %)	1.9	3.3	6.8	9.5	6.3	6.1	8.6	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	8.8	5.5	11.5	9.9	13.0	13.8	11.8	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	3.5	2.6	4.3	4.6	4.1	4.6	4.1	-
名目賃金上昇率 (y/y, %)	4.2	3.6	4.9	5.3	5.3	4.6	5.3	-
失業率 (%)	11.0	12.1	12.4	12.4	11.8	12.1	13.3	-
貿易収支 (百万米ドル)	-12,140	-17,933	-20,450	-6,633	-5,418	-5,784	-3,700	-
輸出額 (百万米ドル)	133,648	155,717	188,948	50,882	49,124	47,390	44,119	-
輸出伸び率 (y/y, %)	-21.2	16.5	21.3	31.1	30.4	11.8	6.2	-
輸入額 (百万米ドル)	145,788	173,650	209,398	57,516	54,542	53,174	47,819	-
輸入伸び率 (y/y, %)	-29.3	19.1	20.6	36.2	26.3	10.0	8.3	-
経常収支 (百万米ドル)	-17,155	-21,837	-22,128	-4,844	-6,309	-6,766	-5,698	-
資本収支 (百万米ドル)	41,942	46,433	38,503	8,766	2,832	8,677	8,834	-
対内直接投資 (百万米ドル)	13,022	9,104	14,344	1,988	4,573	3,312	-2,204	-
外貨準備高 (百万米ドル)	75,923	88,822	92,656	101,872	88,822	92,656	94,231	-
対外債務残高 (百万米ドル)	280,187	315,341	324,465	366,408	337,039	324,465	350,443	-
株価指数	32,135	42,800	44,560	49,365	42,307	39,067	40,646	39,339
短期金利 (interbank3m)	4.415	3.936	4.542	4.436	4.723	4.906	4.969	5.035
EU 調整長期金利 (Gov.10y bond yields)	6.120	5.782	5.956	6.027	5.750	5.783	5.503	5.450
Zloty/USD	3.116	3.018	2.965	2.751	2.943	3.284	3.229	3.321
Zloty/Euro	4.325	3.993	4.120	3.959	4.151	4.421	4.230	4.256
Zloty/GBP	4.857	4.658	4.750	4.485	4.733	5.160	5.070	5.252

2. 月次

	11/11	12	12/01	2	3	4	5	6
鉱工業生産 (y/y, %)	8.5	7.7	9.0	4.6	0.7	2.9	4.6	-
小売売上(実質) (y/y, %)	7.4	4.2	9.9	8.9	6.9	1.8	4.3	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	14.1	13.4	12.8	11.3	11.2	11.9	11.5	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	4.8	4.6	4.1	4.3	3.9	4.0	3.6	-
名目賃金上昇率 (y/y, %)	4.4	4.4	8.1	4.3	3.8	3.4	3.8	-
失業率 (%)	12.1	12.5	13.2	13.5	13.3	12.9	12.6	-
貿易収支 (百万米ドル)	-1,809	-2,394	-1,341	-1,303	-1,057	-1,285	-	-
輸出額 (百万米ドル)	17,414	13,996	13,842	14,046	16,231	14,824	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	20.0	10.8	12.6	2.9	3.9	-4.7	-	-
輸入額 (百万米ドル)	19,223	16,390	15,183	15,348	17,288	16,109	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	10.6	12.6	22.2	4.4	1.5	-7.2	-	-
株価指数	39,509	38,032	38,863	41,677	41,446	40,431	38,310	39,274
短期金利 (interbank3m)	4.941	4.982	4.986	4.975	4.948	4.944	5.039	5.122
EU 調整長期金利 (Gov.10y bond yields)	5.800	5.840	5.680	5.460	5.370	5.490	5.410	-
Zloty/USD	3.271	3.402	3.393	3.158	3.132	3.174	3.357	3.427
Zloty/Euro	4.433	4.473	4.373	4.179	4.136	4.176	4.293	4.296
Zloty/GBP	5.169	5.304	5.262	4.990	4.955	5.077	5.341	5.330

(注)貿易収支は通関ベース

(資料)ポーランド中央銀行、FactSet、ブルームバーグ他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。